



佐世保市立大野中学校

所在地：佐世保市松瀬町 838 番地

校長名：埋ノ江 章

生徒数：638 名 (21 学級)

校 訓：「至誠をもって生涯を貫こう」

1 特色ある学校づくりに対する基本姿勢

本校は、これまで生徒の心の教育や道徳的実践力の育成を図るため、日々の教育活動の充実、教育環境の整備を行ってきた。今年度も「大きな志と真心を持ち のびる生徒の育成」の学校教育目標のもと、次の視点で特色ある学校づくりを進めた。

- (1) のびる知性
- (2) のびる徳性
- (3) のびる体力・自信
- (4) 学校園の活用
- (5) 開かれた学校づくり



2 実践内容・成果

(1)のびる知性

【人権・平和意識の向上】

特色ある学校づくりの柱として、今年度は人権・平和意識の向上のために、外部講師をお招きし「本物に触れる」機会の充実を図った。「人や文化の多様性」を実感したり、考えたりすることをテーマに全校で取り組んだ。

6月29日(木)の平和集会では、講師として、九州ルーテル学院大学3年生の岡田みずほさんを招き、「高校生1万人署名活動」を通して得た経験をもとに「わたしたちでつくるわたしたちの平和」と題して講話をいただいた。直接生徒の中に入っただけの意見交換や分かりやすい語り口による問いかけなどにより、子どもたちが身近なところから平和について考える貴重な機会を提供していただいた。



11月29日(水)の人権学習講演Iでは、Take it 虹! 代表の儀間由里香さんを講師として招き、「セクシャリティを越えて～多様性が彩る未来～」と題して講話をいただいた。LGBTなどの少数派であっても安心して自分を自分らしく表現できる社会を目指していくことの大切さについてお話しいただいた。

1 2月7日(木)の人権学習講演Ⅱでは、くまもと障害者労働センターの倉田哲也さんを招き、「周りとの違いを恥ずかしくないで」と題して講話をいただいた。倉田さんは出産時に脳障害を起こし手足の一部に麻痺があり、手がほとんど使えないため生活全般を足で行う。足でハンドル操作式運転により日本で初めて自動車運転免許を取得された方である。



2月7日(水)には、人権学習のまとめとして、教育・子育て、人権問題の講演家の福永宅司先生による一人芝居「学校Ⅳ」(山田洋次監督作品)を鑑賞した。学力、自尊心、生活リズム、人権などの多様な視点から家族、子育て、人生についての応援歌をいただいたような講演であった。生徒はもちろん、保護者、地域の方の心にも響いていた。

今年度は、外部講師を多数お招きし、生徒に直接語っていただく機会の充実を図った。「人権・平和」、「人や文化の多様性」について考え、理解するための貴重な学習の機会となった。多様であることの価値を理解し、互いの多様性を尊重する思考・態度の育成、固定観念にとらわれないことの大切さを実感させ、実生活に生かそうとする意識・態度の育成の一助となった。生徒の感想やその後の学校生活を通して、顕著な教育効果が感じられた。



(2)のびる徳性

【校外における体験活動の充実】

第2学年：職場体験学習

本校では、2年生で職場体験学習を実施している。まず、各分野の職業人を招き、生徒に「将来の職業」を意識させるために、7月14日(金)に職業講話を実施した。講師として職場体験でもお世話になっている「お茶のみどり園」の谷中清人社長、「ベースボールパーク スタンドイン」の森一馬社長に講話をいただいた。職場体験学習に向けて「働くこと」の意味を考え深める良い機会となった。

職場体験学習を10月31日(火)から11月2日(木)の3日間実施した。71カ所の地域の事業所において、学校だけでなく地域でも子どもを育てるという思いで協力いただいた。実際に仕事を経験し、働くことの厳しさや喜びなどを身をもって体験した。今年度は、職場体験学習後の各事業所からの評価が大変高くなった。その後のレポート作成においても、社会の一員として活躍したいという夢や志のあるものや今後の生活の糧とする意欲あふれる意見が多かった。



第2学年：保育実習

2年生で家庭科の授業の一環として、9月から10月にかけて保育実習を実施し、校区内の幼稚園において幼児と触れ合う体験活動を行った。幼児期の特性を知り、園児との触れ合いから思いやりのあるあたたかい心を育てることを目的とし、保育実習を行った。

(3)のびる体力・自信

【健康教育の推進】

歯科保健の充実

1月22日(水)に、全校生徒を対象に学校歯科医原田洋介先生による歯科保健講話を実施した。「虫歯と歯周病の予防と全身の健康について～虫歯と歯周病は、全身の慢性疾患の始まり～」と題して講話をいただいた。大野中学校の歯科検診の結果などを基にお話いただいた。全校生徒は、自分ごととして真剣に耳を傾け、スクリーンに映し出される口の中の写真等の資料に釘付けになった。講話後の質問コーナーでは、多くの生徒から質問の手があがった。時間の都合で中断となるほどであった。

薬物乱用防止教室の充実

12月12日(火)に3年生を対象に、薬物乱用防止教室を実施した。長崎国際大学 山本経之教授を講師として招き、薬物乱用を大切な脳を守るための問題、生き方に関わる問題として考えた。生徒は、薬物乱用を「自分の生き方に関わる問題」として考えることができた。生徒の感想には、単に薬物の知識や法に触れることだけでなく、生きることの大切さを実感したものが多かった。

(4)学校園の活用

【学校園やプランターによる花・野菜栽培】

校内を花いっぱいにするために、堆肥・花苗等を購入した。特別学級の生徒を中心に、様々な花や野菜を学校園やプランターで育てた。



8月20日(日) 環境整備作業

(5)開かれた学校づくり

①スマホに係る大野中家庭教育宣言

携帯・スマートフォンの普及は、中学生に影響を与えている。そこで、3年前からPTAと連携し「スマホに係る大野中家庭教育宣言」をPTA総会で提案、決議していただいている。家庭における約束事に一定の基準を設けたことが生徒の安全の一助となっている。

②学校カレンダー

大野中学校「学校カレンダー」を作成し、全家庭及び民生児童委員会や健全育成協議会をはじめとする地域の関係団体の会員の皆様にも配布した。学校行事への保護者・地域からの理解を深めることができた。

③PTA・地域との連携

本校の教育活動に対するPTAやおやじの会、OB会などの理解、支援体制は大きく、地域ぐるみで子ども達を育てようという風土がある。今年度も11月3日文化の日の長距離歩行をはじめ、多くの取組があり、子どもたちの健全育成につながっている。今後も、PTAやおやじの会などとの連携を継続し、「通いたい学校」、「通わせたい学校」づくりを推進していきたい。



11月3日(金)文化の日 長距離歩行



12月17日(日) 門松づくり